

猫の手、貸します -猫の手屋繁盛記

かたやま 和華 著

集英社（集英社文庫）2014年

酒を飲んでちょっと黒猫の上に座ってしまった。それから、白猫の姿になった侍の奇妙奇天烈な日々が始まる。

白猫の姿になった侍・宗太郎は黒猫との約束で善行を積むために、「猫の手屋」を営むことにした。その依頼は、鼠の駆除から幽霊供養まで様々である。その中では、予想外に本当の猫に成ることもあり、猫として生活する宗太郎の姿が、時には心配であり、時には愉快爽快である。

尾花 雄路（福岡女子短期大学教員）

